

田んぼの生きもの研究 大集合!

第12回 琵琶湖地域の 水田生物研究会



今年はい
びわ博ホールと
オンライン
ハイブリッド開催

2021年 12月19日(日) 10:00~16:20

会場：琵琶湖博物館ホール 及び オンラインによる中継
(滋賀県草津市下物町 1091 番地) (Zoom、Slack を併用したハイブリッド方式)

会場の定員：90名(事前予約制)

参加申込：以下のサイトから、12/17(金)
までにお申し込みください(参加無料)
<https://forms.gle/xuJ8AFDgJEfPa29U7>



※当日会場へお越しの方へ

常設展示室への入館には、参加者各自で琵琶湖博物館ホームページからの事前予約が必要となります。ご注意ください。

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、琵琶湖博物館ホールでの開催をとりやめ、オンラインのみでの開催とする場合があります。ご了承ください。

※オンライン参加の方は開催2日前に、当日のZoom会議室やポスター会場となるアドレスをお伝えします。

ミニシンポジウム 13:30~15:15

「滋賀県におけるため池のこれからと生物多様性保全」

ため池は主に農業用水を確保するために人々が作り、管理してきた水域で、その歴史の中でさまざまな生き物がすみつくようになりました。しかし、近年ため池は老朽化や防災上の観点から管理上の見直しがなされ、改修や廃止なども進められています。ため池に生息している生き物の保全とどう調和を図っていくのか、全国の事例、そして滋賀県の事例から考えていきます。

研究発表

全国から集まったさまざまな人たちによる、さまざまな田んぼの生き物研究です

一般講演 会場から：10:10~11:00
オンラインから：15:25~16:15

ポスター発表コアタイム 12:30~13:30
(ホームページ上でPDFファイルを開覧、質疑応答はビジネスチャットツール Slack を使用)

基調講演

西原昇吾：ため池に生息する水生昆虫の現状とその保全

話題提供

左寄雄一郎：滋賀県における農業用ため池整備について

河瀬直幹：滋賀県のため池におけるトンボ等の生息環境に関する話題

金尾滋史：滋賀県内のため池に生息する魚類・貝類とその保全

■お問合せ先■

琵琶湖博物館 金尾滋史・大塚泰介・鈴木隆仁

電話：077-568-4811 E-mail：suiden-seibutsu@biwahaku.jp

主催：滋賀県立琵琶湖博物館

共催：近江地域学会生きもの豊かな農村づくり研究会・日本生態学会近畿地区会

第12回 琵琶湖地域の水田生物研究会 プログラム

◆ 10:00 開会あいさつ・使用方法の説明・諸注意

◆ 10:10～11:00 口頭発表①（会場からの発表）

東川 航・吉村真由美：水田地帯で激減する赤とんぼの保全—生態研究の成果と課題—

木本裕也・西田隆義：トノサマガエル属の配偶様式から繁殖干渉を考える

中井克樹：ため池は外来種問題のホットスポット

◆ 11:00～13:30 ポスター発表（コアタイム 12:30～13:30）

大久保卓也・閻 雨佳・王俊函・須戸幹：農業の水田生態系への影響評価

佐藤涼太郎・中野光議：宮崎県都城市における水田の水生動物相

山田七緒子：大垣市におけるツバメの営巣記録（2008-2021）

掛橋竜祐・高橋勇貴・米田大樹・逸見敬太郎・大塚泰介・倉林敦：

琵琶湖東岸に現れた新規ヌマガエル集団についての形態学・遺伝学的研究

高橋慶伍・竹内寛彦：トウキョウダルマガエルのオスの calling site について

大塚泰介：TNB48 第二期メンバー募集のお知らせ

金尾滋史・向井康夫：滋賀県内の水田で確認されたヒメマルマメタニシ

◆ 13:30～15:15 ミニシンポジウム

「滋賀県におけるため池のこれからと生物多様性保全」

■ 基調講演

西原昇吾：ため池に生息する水生昆虫の現状とその保全

■ 話題提供

左寄雄一郎：滋賀県における農業用ため池整備について

河瀬直幹：滋賀県のため池におけるトンボ等の生息環境に関する話題

金尾滋史：滋賀県内のため池に生息する魚類・貝類とその保全

◆ 15:15～15:25 休憩

◆ 15:25～16:15 口頭発表②（オンラインによる発表）

安野 翔：田植え時期および輪作体系の異なる水田間での水生動物群集の比較

中平りんか・中野光議：宮崎県の水田と畑に生息する鳥類の種組成と行動

田和康太・槐 ちがや・中村圭吾：

利根川下流域の特異的な湿田景観「掘り下げ田」における水生動物群集の特徴—河道内湿地との比較から—

◆ 16:15 閉会挨拶

◆ 16:20 終了

今年の発表は **17** 題！

田んぼの生き物を、
ともに語り合しましょう。

写真：金尾滋史 デザイン・写真：古谷愛子



■ 交通のご案内

●電車とバスでは、JR琵琶湖線「草津駅」西口から近江鉄道バス「琵琶湖博物館」行きで「琵琶湖博物館」下車。（約25分）

●お車では、名神高速道路を利用し、「粟東IC」から約25分。